

# 富山市上下水道局公共工事総合評価落札方式試行要領

平成25年3月25日決裁

## 1 趣旨

この要領は、公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成17年法律第18号）に基づき、上下水道局が発注する公共工事の品質確保の促進を図るため、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）の規定に基づき、価格その他の条件が上下水道局にとって最も有利なものをもって申込みをした者を落札者とする方式（以下「総合評価落札方式」という。）を試行するに当たり、必要な事項を定めるものとする。

## 2 総合評価落札方式の試行対象工事

総合評価落札方式の試行対象工事は、入札価格と企業がもつ技術的な要素（以下「技術提案」という。）とを一体として評価することが妥当と認められる工事とする。ただし、緊急を要する工事及び小規模な工事は、除くものとする。

## 3 総合評価落札方式の型式

総合評価落札方式は、当該工事の難易度、技術的な工夫の余地、規模等に応じ、次に掲げる型式に区分する。

- (1) 高度技術提案型 高度な技術提案を要する工事について、ライフサイクルコスト、工事事目的物の強度、耐久性、供用性（維持管理の容易性）等の環境の維持、景観等の評価項目に基づき、性能等と入札価格とを総合的に評価するもの
- (2) 標準型 高度な技術提案を要する工事及び技術的な工夫の余地が小さい工事以外の工事について、環境の維持、交通の確保、特別な安全対策等の評価項目に基づき、性能等と入札価格とを総合的に評価するもの
- (3) 簡易型 技術的な工夫の余地が小さい工事であって、簡易な施工計画、同種工事の施工実績、工事成績等の評価項目に基づき、性能と入札価格とを総合的に評価するもので、当該工事の内容に応じ、次のとおり区分する。
  - ア Aタイプ 簡易な施工計画、企業の施工能力、配置予定技術者の能力及び企業の地域性・社会性を確認することが、品質確保のため必要であると見込まれる工事を対象とするもの
  - イ Bタイプ 企業の施工能力、配置予定技術者の能力及び企業の地域性・社会性を確認することにより、品質が確保されると見込まれる工事を対象とするもの

## 4 学識経験者の意見聴取

総合評価落札方式を実施するに当たっては、地方自治法施行令第167条の10の2第4項及び第5項（第167条の13において準用する場合を含む。）の規定により、次に掲げる事項について学識経験を有する者の意見を聴取するものとする。

- (1) 落札者決定基準を定めるに当たり留意すべき事項
- (2) 価格その他の条件が上下水道局に最も有利なもの決定（学識経験者が必要と認めた場合）

## 5 総合評価の方法

- (1) 総合評価の方法は、次の式により算出して得られる数値（以下「評価値」という。）をもって行うものとする。

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{技術評価点} \div \text{入札価格} \\ &= (\text{標準点} + \text{技術加算点}) \div \text{入札価格} \end{aligned}$$

- (2) 標準点とは、要求する要件を最低限満たしている技術提案について与える点数（100点）をいう。
- (3) 技術加算点とは、技術提案について、次に掲げる工事の区分に応じ、それぞれ次に掲げる別表に規定する評価項目及び評価基準に基づき算出される点数をいう。
  - ア イ及びウ以外の工事 別表1
  - イ 一般建築工事 別表2
  - ウ 建築付帯設備工事 別表3
- (4) 技術加算点は、あらかじめ上下水道局が設定する総合評価落札方式の型式に応じた技術提案を入札参加者に求め、当該技術提案の審査及び評価を行い、算出するものとする。

## 6 落札者の決定方法

- (1) 落札者は、次の要件を満たす入札参加者のうち、評価値が最も高い者とする。
  - ア 要求する要件を最低限満たしていること。
  - イ 入札価格が予定価格を超えていないこと。
  - ウ 評価値が、次の式により算出して得られる基準評価値を下回っていないこと。
$$\text{基準評価値} = 100 \text{点 (標準点)} \div \text{予定価格 (単位: 百万円)}$$
- (2) 評価値の最も高い者が2者以上あるときは、入札価格が低い者を落札者とする。ただし、入札価格が同額である場合は、これらの者のくじによって落札者を決定するものとする。
- (3) 落札者となるべき者の入札価格が調査基準価格を下回る場合には、(1)及び(2)の規定にかかわらず、落札者の決定を保留し、富山市上下水道局低入札価格調査制度実施要領に基づき、審査を行い、落札者を決定するものとする。
- (4) 総合評価落札方式の試行対象工事に係る入札については、富山市上下水道局建設工事等入札心得のうち、落札者の決定に関する規定は、適用しない。

## 7 評価結果等の公表

入札参加者が提示した技術提案に係る技術評価点及び入札価格並びに評価値については、契約締結後、速やかに公表するものとする。

## 8 苦情の処理

入札参加者から落札者の決定等に関し苦情があったときは、当該入札参加者の評価項目ごとの評価点数を通知するものとする。この場合において、当該評価の理由を求められたときは、その理由を説明するものとする。

## 9 技術提案等の履行の担保

- (1) 落札者の技術提案に記載された事項は、契約書、特記仕様書等に追加事項として記載

するものとする。

- (2) 当該技術提案の技術提案書、簡易な施工計画に記載された事項が履行されていないことを確認した場合は、原則として、再施工又は修補による履行を行わせるものとする。ただし、再施工又は修補による履行が合理的でないと認められる場合には、次の総合評価落札方式の型式の区分に応じ、それぞれ次の措置を講ずるものとする。

ア 高度技術提案型 工事成績評定の減点及び違約金の徴収

イ 標準型 工事成績評定の減点及び違約金の徴収

ウ 簡易型 工事成績評定の減点

- (3) 工事成績評定の減点は、次の式により算出して得られる数値をもって行うものとする。ただし、虚偽の報告その他の悪質な行為があった場合に行う工事成績評定の減点の点数は、13点とする。

$$\text{工事成績評定の減点の点数} = 8 \times \{ (\alpha - \beta) / \alpha \}$$

ア  $\alpha$ は、当初の技術加算点とする。

イ  $\beta$ は、達成度合いに応じて再計算した技術加算点とする。

- (4) 違約金は、次の式により算出して得られる額を徴収するものとする。

$$\text{違約金} = \{ 1 - (100 + \beta) / (100 + \alpha) \} \times C$$

ア  $C$ は、当初の契約金額（円）とする。

イ  $\alpha$ は、当初の技術加算点とする。

ウ  $\beta$ は、達成度合いに応じて再計算した技術加算点とする。

## 10 その他

この要領に定めるもののほか、総合評価落札方式の試行に関し必要な事項は、別に定める。

### 附 則

( 施行 期 日 )

- 1 この要領は、平成25年4月1日から施行する。

( 経 過 措 置 )

- 2 この要領の施行の日の前日までに富山市公共工事総合評価落札方式試行要領の規定に基づきなされた処分、手続その他の行為は、この要領の相当規定によりなされたものとみなす。

### 附 則

この要領は、平成30年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和 3 年 7 月 1 日から施行する。

別表1

富山市評価項目及び評価基準(土木工事等)

			高度技術 提案型	標準型	簡易型		配点	備考
					A	B		
高度な技術提案又は 施工に係る技術提案 (様式第1号)			●	●				
	小計		120 ~ 290	50 (100)				標準型の場合、簡易な施工計画の提出を求める場合は、50点とする。
簡易な施工計画 (様式第2号)	材料の品質管理に係る技術的所見		○	○	●		50	
	施工上の課題に対する技術的所見							
	施工上配慮すべき技術的所見							
	工程管理に関する技術的所見							
	小計		50 (0)	50 (0)	50		50	
企業の施工能力 (様式第3号)	施工実績	過去一定期間(注2*①)の同種工事 の実績の有無(注3*②)	○	●	●	●	10 0	原則として、市発注工事とする。市発注工事の実績がない場合は、国土交通省、農林水産省若しくは林野庁(以下、これらを総称して「国」という。)又は県が発注した市内工事を含む。
	工事成績	過去一定期間(注4*③)の工事成 績評定点の平均点(小数第一位を四 捨五入する。)	○	●	●	●	15 10 5 0	
	優良工事表彰 (富山土木センター 優良土木工事表彰)	過去2年度に、同種の 優良工事表彰の有無	○	●	●	●	10 5 0	
	小計		35 (0)	35	35	35	35	
配置予定技術者の能力 (様式第4号及び様式 第5号)	施工実績	過去一定期間*①の同種工事 の実績の有無	○	●	●		10 0	原則として、市発注工事とする。市発注工事の実績がない場合は、国又は県が発注した市内工事を含む。 低入札に伴う担当技術者としての工事実績は、対象外とする。 申請時において、配置予定技術者を特定できない場合は、複数の技術者について申請することを認める。この場合、各評価項目の合計点数が最も低い者の合計点数をもって配点する。
	工事成績	過去一定期間(注4*③)の工事 成績評定点の平均点(小数第一位 を四捨五入する。)	○	●	●		10 5 0	
	主任(監理)技術者 の保有する資格		○	●	●	●	10 0	
	小計		30 (0)	30	30	10	30	
企業の地域性・社会性 (様式第3号)	主たる営業所の所在地		○	○	○	○	5 0	主たる営業所の所在地を入札参加資格の要件としない工事に限る。
	災害協定への参加		○	●	●	●	10 0	
	除雪協力	過去2か年度の除雪の受託実績の 有無(注5*④)	○	●	●	●	20 15 10 5 0	一般土木工事、舗装工事、消雪装置工事、水道管理設工事、しゅんせつ工 事、法面処理工事、ボーリング・グラウト工事、造園工事を対象とする。 一般土木工事、アスファルト舗装工事、消雪装置工事、水道管理設工事及び 造園工事を対象とする。
	浸水対策協力	入札公告日の属する年度の前年度 における排水ポンプ車運転作業業 務の出動及び点検実績の有無	○	●	●	●	10 5 0	市長部局が指定する工事に限る。
		入札公告日の属する年度の前年度 における雨水幹線巡視業務又は低 地排水業務の出動及び緊急対応訓 練参加実績の有無	○	●	●	●	10 5 0	上下水道局が指定する工事に限る。
	チーム「富山市」	温暖化防止に取り組む「チーム富山 市」の参加	○	●	●	●	5 0	企業等が自主的にチームを結成し、具体的な温暖化防止行動と その目標を掲げ、温室効果ガス削減の成果を上げることを目的 としている。
	消防団協力事業所	消防団協力事業所の認定の有無	○	●	●	●	10 0	富山市から消防団協力事業所の認定を受けていること。
	小計		60 (0)	60 (55)	60 (55)	60 (55)	60	
配点計			120 ~ 465	220 ~ 225	170 ~ 175	100 ~ 105		
技術加算点	計		30 ~ 50	25	20	15		

注1 ●は必須とし、○は任意(個別の工事ごとに判断)とする。

注2 \*①一定期間とは、当該入札を行なう年度の前4か年度及び当該年度の当初から申請日まで。(ただし、国又は県工事は、前4か年度とする。)

注3 \*②工事の実績の有無は一定期間に完成した工事の有無とする。ただし、契約額300万円(国又は県工事は、500万円)未満の工事は実績と認めない。

注4 \*③成績の一定期間とは、当該入札を行なう年度の前4か年度及び当該年度の当初から直近四半期までの期間の工種ごとの工事成績を平均したものと(4年から最長4年9ヶ月 ただし、国又は県工事は、前4か年度とする。)

注5 \*④2か年度とは、入札公告日の属する年度及びその前年度とする(ただし、入札公告日が11月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の前2年度とする。)

評定点数を、各形式毎の技術加算点に割り変える。  
加算点=評価点数×技術加算点の満点/評定点数の満点

別表2

## 富山市評価項目及び評価基準(一般建築工事)

				高度技術提案型		標準型		簡易型		配点	備考
				●	○	●	○	A	B		
高度な技術提案又は施工に係る技術提案(様式第1号)	小計			●	○	●	○				
				120 ~ 290	50 (100)						標準型の場合、簡易な施工計画の提出を求める場合は、50点とする。
簡易な施工計画(様式第2号)	材料の品質管理に係る技術的所見			○	○	●	○				
	施工上の課題に対する技術的所見										
	施工上配慮すべき技術的所見										
	工程管理に関する技術的所見										
	小計			50 (0)	50 (0)	50				50	
企業の施工能力(様式第3号)	施工実績	過去一定期間(注2*①)の同種工事の実績の有無(注3*②)	あり	○	●	●	●			10	
			なし							0	
	工事成績	過去一定期間(注4*③)の工事成績評定点の平均点(小数第一位を四捨五入する。)	80点以上	○	●	●	●			15	原則として、市発注工事とする。市発注工事の実績がない場合は、県が発注した市内工事を含む。
			75点以上80点未満							10	
			70点以上75点未満							5	
			70点未満							0	
	優良工事表彰(富山土木センター優良土木工事表彰)	過去2年度に、同種の優良工事表彰の有無	最優秀賞	○	●	●	●			10	過去2年度に富山県建設優良工事(土木部又は農林水産部)、富山土木センター管内優良土木工事、立山土木事務所管内優良土木工事及び富山農林振興センターの表彰を受けたことがあるものとする。(ただし、最優秀賞、優秀賞及び良賞は、富山市内で施工された工事に限る。)
			優秀賞、良賞							5	
			なし							0	
	小計			35 (0)	35	35	35			35	
配置予定技術者の能力(様式第4号及び様式第5号)	施工実績	過去一定期間*①の同種工事の実績の有無	あり	○	●	●	●			10	原則として、市発注工事とする。市発注工事の実績がない場合は、県が発注した市内工事を含む。
			なし							0	
	工事成績	過去一定期間(注4*③)の工事成績評定点の平均点(小数第一位を四捨五入する。)	75点以上	○	●	●	●			10	低入札に伴う担当技術者としての工事実績は、対象外とする。
			70点以上75点未満							5	
			70点未満							0	
	主任(監理)技術者の保有する資格		1級国家資格者又は技術士	○	●	●	●			10	申請時において、配置予定技術者を特定できない場合は、複数の技術者について申請することを認める。この場合、各評価項目の合計点数が最も低い者の合計点数をもって配点する。
			上記資格なし							0	
	小計			30 (0)	30	30	10			30	
企業の地域性・社会性(様式第3号)	主たる営業所の所在地		市内	○	○	○	○			10	主たる営業所の所在地を入札参加資格の要件としない工事に限る。
			市外							0	
	災害協定への参加		あり	○	●	●	●			10	
			なし							0	
	除雪協力	過去2か年度の除雪の受託実績の有無(注5*④)	道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供(2年)	○	●	●	●			20	
			道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供(1年)及び道路又は道路除雪の操作者の提供(1年)							15	
			道路又は歩道除雪の操作者の提供(2年)又は、道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供(1年)							10	
			道路又は歩道除雪の操作者の提供(1年)							5	
			なし							0	
	チーム「富山市」	温暖化防止に取り組む「チーム富山市」の参加	参加	○	●	●	●			5	企業等が自主的にチームを結成し、具体的な温暖化防止行動とその目標を掲げ、温室効果ガス削減の成果を上げることを目的としている。
			不参加							0	
	応急危険度判定士		あり	○	●	●	●			10	震災建築物応急危険度判定士又は被災宅地応急危険度判定士の資格を有する従業員(常勤役員を含む。)が1人以上在職すること。
			なし							0	
	消防団協力事業所	消防団協力事業所の認定の有無	あり	○	●	●	●			10	富山市から消防団協力事業所の認定を受けていること。
			なし							0	
	小計			65 (0)	65 (55)	65 (55)	65 (55)			65	
配点計				120 ~ 470	220 ~ 230	170 ~ 180	100 ~ 110				
技術加算点	計			30 ~ 50	25	20	15				

注1 ●は必須とし、○は任意(個別の工事ごとに判断)とする。

注2 \*①一定期間とは、当該入札を行なう年度の前4か年度及び当該年度の当初から申請日まで。

注3 \*②工事の実績の有無は一定期間に完成した工事の有無とする。ただし、契約額300万円未満の工事は実績と認めない。

注4 \*③成績の一定期間とは、当該入札を行なう年度の前4か年度及び当該年度の当初から直近四半期までの期間の工種ごとの工事成績を平均したものとする(4年から最長4年9ヶ月)。

注5 \*④2か年度とは、入札公告日の属する年度及びその前年度とする(ただし、入札公告日が11月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の前2年度とする。)

評定点数を、各形式毎の技術加算点に割り変える。  
 加算点=評価点数×技術加算点の満点/評定点数の満点  
 ex(簡易型B) :  $\alpha \times 15 \text{点} / 110 \text{点}$  ( $\alpha$ : 評価点数)

別表3

富山市評価項目及び評価基準(建築付帯設備工事)

			高度技術 提案型	標準型	簡易型		配点	備考	
					A	B			
高度な技術提案又は 施工に係る技術提案 (様式第1号)	小計		●	●					
			120 ~ 290	50 (100)				標準型の場合、簡易な施工計画の提出を求める場合は、50点とする。	
簡易な施工計画 (様式第2号)	材料の品質管理に係る技術的所見		○	○	●			50	
	施工上の課題に対する技術的所見								
	施工上配慮すべき技術的所見								
	工程管理に関する技術的所見								
	小計		50 (0)	50 (0)	50		50		
企業の施工能力 (様式第3号)	施工実績	過去一定期間(注2*①)の 同種工事の実績の有無(注3 *②)	あり なし	● ○	● ○	● ○	10 0	原則として、市発注工事とする。市発注工事の実績がない場合は、県が発注した市内工事を含む。	
	工事成績	過去一定期間(注4*③) の工事成績評定点の平均 点(小数第一位を四捨五入 する。)	80点以上 75点以上80点未満 70点以上75点未満 70点未満	○ ○ ○ ○	● ● ● ○	● ● ● ○	15 10 5 0		
	優良工事表彰 (富山土木センター 優良土木工事表彰)	過去2年度に、同種の 優良工事表彰の有無	最優秀賞 優秀賞、良賞 なし	○ ○ ○	● ● ○	● ● ○	10 5 0		過去2年度に富山県建設優良工事(土木部又は農林水産部)、富山土木センター管内優良土木工事、立山土木事務所管内優良土木工事及び富山農林振興センターの表彰を受けたことがあるものとする。(ただし、最優秀賞、優秀賞及び良賞は、富山市内で施工された工事に限る。)
	小計			35 (0)	35	35	35		35
配置予定技術者の能力 (様式第4号及び様式 第5号)	施工実績	過去一定期間*①の同 種工事の実績の有無	あり なし	○ ○	● ○	● ○	10 0		原則として、市発注工事とする。市発注工事の実績がない場合は、県が発注した市内工事を含む。  低入札に伴う担当技術者としての工事実績は対象外とする。  申請時において、配置予定技術者を特定できない場合は、複数の技術者について申請することを認める。この場合、各評価項目の合計点数が最も低い者の合計点数をもって配点する。
	工事成績	過去一定期間(注4* ③)の工事成績評定点 の平均点(小数第一位を 四捨五入する。)	75点以上 70点以上75点未満 70点未満	○ ○ ○	● ● ○	● ● ○	10 5 0		
	主任(監理)技術者の 保有する資格		1級国家資格者又は技術士 上記資格なし	○ ○	● ○	● ○	10 0		
	小計			30 (0)	30	30	10	30	
企業の地域性・社会性 (様式第3号)	主たる営業所の所在地		市内 市外	○ ○	○ ○	○ ○	15 0	主たる営業所の所在地を入札参加資格の要件としない工事に限る。	
	災害協定への参加		あり なし	○ ○	● ○	● ○	15 0		
	除雪協力	過去2か年度の除雪の受 託実績の有無(注5*④)	道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供(2年) 道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供(1年)及び 道路又は歩道除雪の操作者の提供(1年) 道路又は歩道除雪の操作者の提供(2年)又は、 道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供(1年) 道路又は歩道除雪の操作者の提供(1年) なし	○ ○ ○ ○ ○	● ● ● ○ ○	● ● ● ○ ○	20 15 10 5 0		
	チーム「富山市」	温暖化防止に取り組む 「チーム富山市」の参加	参加 不参加	○ ○	● ○	● ○	5 0	企業等が自主的にチームを結成し、具体的な温暖化防止行動とその目標を掲げ、温室効果ガス削減の成果を上げることが目的としている。	
	消防団協力事業所	消防団協力事業所の認 定の有無	あり なし	○ ○	● ○	● ○	10 0	富山市から消防団協力事業所の認定を受けていること。	
	小計			65 (0)	65 (50)	65 (50)	65 (50)	65	
配点計				120 ~ 470	215 ~ 230	165 ~ 180	95 ~ 110		
技術加算点	計			30 ~ 50	25	20	15		

注1 ●は必須とし、○は任意(個別の工事ごとに判断)とする。

注2 \*①一定期間とは、当該入札を行なう年度の前4か年度及び当該年度の当初から申請日まで。

注3 \*②工事の実績の有無は一定期間に完成した工事の有無とする。ただし、契約額300万円未満の工事は実績と認めない。

注4 \*③成績の一定期間とは、当該入札を行なう年度の前4か年度及び当該年度の当初から直近四半期までの期間の工事ごとの工事成績を平均したものと(4年から最長4年9ヶ月)。

注5 \*④2か年度とは、入札公告日の属する年度及びその前年度とする(ただし、入札公告日が11月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の前2年度とする。)

評定点数を、各形式毎の技術加算点に割り変える。  
 加算点 = 評価点数 × 技術加算点の満点 / 評定点数の満点  
 ex(簡易型B) :  $\alpha \times 15 \text{点} / 110 \text{点}$  ( $\alpha$ : 評価点数)

# 技術提案書

工事名: \_\_\_\_\_

会社名: \_\_\_\_\_

■技術提案事項	
---------	--

## 具体的な施工計画

- 注) 1 構造物の所要性能が低下する内容の提案をすることはできません。  
2 具体的な施工計画は複数提案することはできません。  
3 他機関、他工事等との協議・調整が必要となる提案又はそのおそれのある提案をすることはできません。  
4 技術提案書は本様式を用い、簡潔に記述してください(枚数制限はありません。)  
5 必要に応じて構造図等を添付してください(枚数制限はありません。)

# 簡易な施工計画

(施工上の課題に対する技術的所見)

工事名: \_\_\_\_\_

会社名: \_\_\_\_\_

■施工上の課題	
---------	--

項目(課題)	具体的な施工計画

注) 1 簡易な施工計画は本様式を用いて、1枚で簡潔に記述してください。  
2 必要に応じて構造図等を添付してください(枚数制限はありません。)  
(構造図等を添付される場合の提出方法は、事前に契約出納課に問い合わせしてください。)





## 企業の施工能力及び地域性・社会性(建築工事)

工事名: \_\_\_\_\_ 会社名: \_\_\_\_\_

同種工事の施工実績	工 事 名		
	発 注 機 関 名		
	施 工 場 所		
	工 期		
	契 約 金 額 (円)		
	受 注 形 態	単体・共同企業体の別	
		出 資 比 率	
	工 事 概 要		
CORINS登録の有無	有(CORINS登録番号) ・ 無		

優良表彰	富山県建設優良工事等の表彰の有無	有(受賞年度・賞名・工事名) ・ 無
------	------------------	--------------------

	対象年度	契約内容	数値	○印欄
除雪協力	<u>対象年度において、富山市と除雪業務について右の内容の契約をしている場合は、該当する○印欄に○を記入してください。</u> ※ 稼働実績の有無は問いません。 ※ 各年度のaまたはbを選択(a, b両方の実績がある場合はaを選択)してください。	入札公告日の属する年度(入札公告日が11月30日以前の場合)	10	
		a. 自社の機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(機械及びオペレーターの提供)。		
		b. 市から貸与された機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(オペレーターの提供)。	5	
		入札公告日の属する年度の前年度		
	入札公告日の属する年度の 前年度(入札公告日が11月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の 前々年度)	a. 自社の機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(機械及びオペレーターの提供)。	10	
		b. 市から貸与された機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(オペレーターの提供)。	5	

災害協力	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	富山市と「災害時における応急対策業務に関する協定」等を締結している協会等(富山市建設業協会、富山市管工事協同組合、富山県構造物解体協会、富山市電業協会、斜面防災対策技術協会富山支部、富山県地質調査業協会、富山造園業協同組合、富山市一般廃棄物収集運搬業協会、富山県電気工事工業組合、富山県建築士事務所協会)の会員であること。	10	
------	-------------------------	---	----	--

チーム富山市	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	富山市環境部環境政策課がCO2削減の施策として企画している「チーム富山市」に参加していること。	5	
--------	-------------------------	---	---	--

応急危険度判定士	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	被災した市町村の要請を受け、ボランティアで建築物の被災状況の応急危険度判定を行う建築士等である「応急危険度判定士」として、富山県知事の認定を受けていること。	10	
----------	-------------------------	--	----	--

消防団協力事業所	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	富山市から消防団協力事業所の認定を受けていること	10	
----------	-------------------------	--------------------------	----	--

注) 1 契約金額については、最終請負金額(税込み)を記載してください。  
 2 施工実績工事の内容はCORINSにて確認しますが、CORINSに未登録の場合は、契約書、一般図等、施行実績工事の内容が的確に判断できる必要最小限度の資料を、入札書の受付締切日までに、持参又はFAXで提出してください。 FAX:076-432-8635  
 3 除雪協力については、契約書等の写しの添付は、必要ありません。  
 4 「応急危険度判定士」については、認定証の写しを、入札書の受付締切日時までに、持参又はFAXで提出してください。 FAX:076-432-8635

## 企業の施工能力及び地域性・社会性(建築付帯工事)

工事名: \_\_\_\_\_ 会社名: \_\_\_\_\_

同種工事の施工実績	工事名		
	発注機関名		
	施工場所		
	工期		
	契約金額(円)		
	受注形態	単体・共同企業体の別	
		出資比率	
工事概要			
CORINS登録の有無	有(CORINS登録番号)・無		

優良表彰	富山県建設優良工事等の表彰の有無	有(受賞年度・賞名・工事名) ・ 無
------	------------------	--------------------

	対象年度	契約内容	数値	○印欄
除雪協力	<p>対象年度において、富山市と除雪業務について右の内容の契約をしている場合は、該当する○印欄に○を記入してください。</p> <p>※ 稼働実績の有無は問いません。</p> <p>※ 各年度のaまたはbを選択(a, b両方の実績がある場合はaを選択)してください。</p>	<p>入札公告日の属する年度(入札公告日が11月30日以前の場合、入札公告日の属する年度の前年度)</p> <p>a.自社の機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(機械及びオペレーターの提供)。</p>	10	
		<p>b.市から貸与された機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(オペレーターの提供)。</p>	5	
		<p>入札公告日の属する年度の前年度(入札公告日が11月30日以前の場合、入札公告日の属する年度の前々年度)</p> <p>a.自社の機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(機械及びオペレーターの提供)。</p>	10	
		<p>b.市から貸与された機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(オペレーターの提供)。</p>	5	

災害協力	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	富山市と「災害時における応急対策業務に関する協定」等を締結している協会等(富山市建設業協会、富山市管工事協同組合、富山県構造物解体協会、富山市電業協会、斜面防災対策技術協会富山支部、富山県地質調査業協会、富山造園業協同組合、富山市一般廃棄物収集運搬業協会、富山県電気工事工業組合、富山県建築士事務所協会)の会員であること。	15	
------	-------------------------	---	----	--

チーム富山市	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	富山市環境部環境政策課がCO2削減の施策として企画している「チーム富山市」に参加していること。	5	
--------	-------------------------	---	---	--

消防団協力事業所	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	富山市から消防団協力事業所の認定を受けていること	10	
----------	-------------------------	--------------------------	----	--

- 注) 1 契約金額については、最終請負金額(税込み)を記載してください。  
 2 施工実績工事の内容はCORINSにて確認しますが、CORINSに未登録の場合は、契約書、一般図等、施行実績工事の内容が的確に判断できる必要最小限度の資料を、入札書の受付締切日時までに、持参又はFAXで提出してください。 FAX:076-432-8635  
 3 除雪協力については、契約書等の写しの添付は、必要ありません。

### 配置予定技術者の能力

工事名: \_\_\_\_\_

会社名: \_\_\_\_\_

配置予定技術者の 従事役職・氏名		〇〇技術者    〇〇    〇〇
法令による 資格	資格名	
	取得年月日	
	登録番号	
同種工事の 施工実績	工事名	
	発注機関名	
	施工場所	
	工期	
	契約金額(円)	
	受注形態	単体/JV
	従事役職	主任技術者、監理技術者等
	工事概要	
	CORINS登録の有無	有(CORINS登録番号) ・ 無

- 注)
- 1 法令による資格欄には、総合評価で評価される一級国家資格又は技術士の資格について記載してください。
  - 2 資格者証の写しの添付は、必要ありません。
  - 3 施工実績工事の内容はCORINSにて確認しますが、CORINSに未登録の場合は、契約書、一般図等、施行実績工事の内容が的確に判断できる必要最小限度の資料を、入札書の受付締切日時までに、持参又はFAXで提出してください。 FAX:076-432-8635
  - 4 簡易型Bの場合、「同種工事の施工実績」については、記入する必要はありません。
  - 5 申請時において、配置予定技術者を特定できない場合は、複数の技術者について提出を認めます。この場合、各評価項目の合計点数が最も低い者の合計点数をもって配点します。
  - 6 低入札に伴う担当技術者(追加配置技術者)としての工事实績は、対象外とします。



技術資料 様式第6号

年 月 日

(宛先) 富山市上下水道事業管理者

住 所  
商号又は名  
代表者氏名

下記工事の技術提案資料を提出します。なお、添付の資料の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

記

工 事 番 号 :

工 事 名 :